

1 組織体制

県対策本部	本部長(知事)
県北広域支部	支部長(局長)
久慈地方支部	支部長(経営企画部長)、副支部長(保健福祉環境部長)、職務代理者(農政部長)

班名	班を構成する機関	主な担当業務
総務・調整班	経営企画部、久慈審査指導監	地方支部設置、連絡調整、動員調整、資機材調達
健康・環境班	保健所 保健福祉環境部	発生農場関係者及び防疫作業従事者の健康調査、地域住民からの相談対応、環境調査、野鳥監視
運営班	農政部、農村整備室、農業改良普及室、林務部、水産部	集合施設・現地拠点の設置及び運営、輸送、関係事業者からの相談対応、風評被害対策
埋却・消毒班	土木部(滝ダム事務所含む)	焼埋却作業の統括、消毒ポイントの設置及び運営
防疫班	県北家畜保健衛生所	県指針に基づく所要の対応
教育班	県北教育事務所	児童・生徒の安全確認、学校給食の対応確認
警備班	久慈警察署	交通規制、周辺警備、消毒ポイント設置運営協力



2 保健所における対応

当部は「健康・環境班」として次の業務を担当する。《健康調査チームが派遣される。》

① 発生農場関係者に対する健康調査

他保健所職員で構成、3チーム編成済
1チーム22名(医師2、保健師10、薬剤師1、その他職員9)

※
② 防疫作業従事者に対する健康調査等

(鳥フル簡易検査陽性判定後、約12~24時間後から開始)

■集合施設	(発生農場のある市町村の体育館等に設置)	作業前検診・作業後検診
■現地拠点施設	(発生農場の近くに設置)	防護衣の脱着指導監督

※ 防疫作業従事者

防疫作業には、防疫作業支援班が従事する。(県職員21班42チーム630人体制で編成済)

発生農場については、原則として24時間以内の殺処分、72時間以内の埋却処分を迅速に行い、感染拡大を防止する。
[10万羽以上の場合は自衛隊に派遣要請を行う]

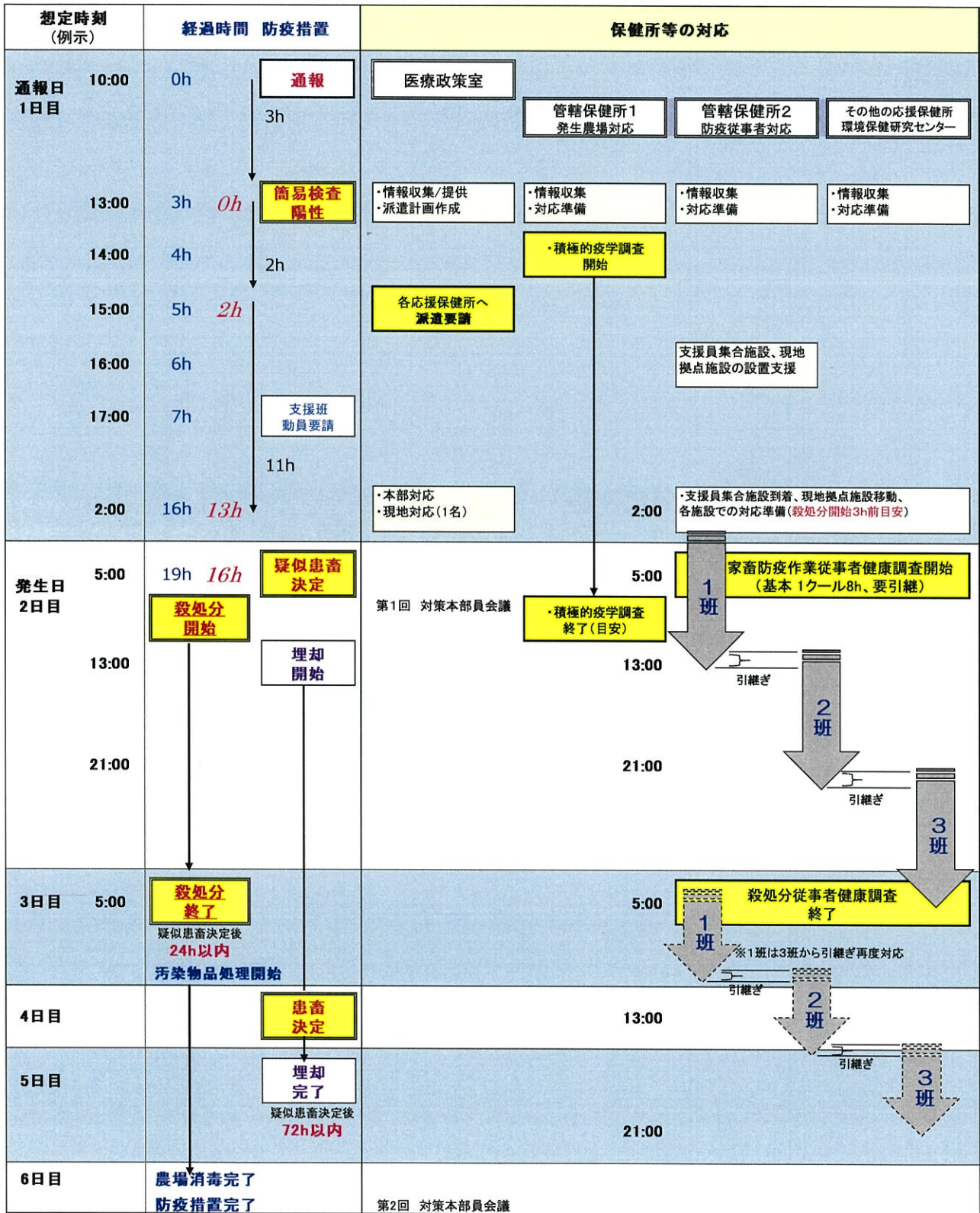
③ 地域住民からの相談対応

④ 環境調査(農場周辺及び埋却地周辺の環境調査)、野鳥監視

3 久慈地方支部における取組

- ・ H29.11.29 拠点施設及び集合施設調査(大野体育館)
- ・ H29.12.20 久慈地方支部班長会議及び鳥インフルエンザ対策関係市町村担当課長会議

《 保健所等対応 タイムフロー 》



※ 農林水産部畜産課作成資料（H28年12月）をもとに作成

※ 肉用鶏10万羽規模での発生を想定

※ このタイムテーブルは対応スケジュール等を検討するための例示であり、実際には発生事例により異なること。